

## No.5 葉山真

被害証言ありがとうございます。簡単な自己紹介をお願いします。仮の名前でも結構です。

葉山と言います。東京に住んでいます。

現在どのような被害にお困りですか。

私はエネルギー兵器によって、遠隔的に拷問をされていると恐らく考えられる被害を毎日受けています。どういうことかといいますと、症状としては例えば身体のかなんな部分に突然痛みが起きます。中でも、私の場合は睾丸、これが一番攻撃を受ける場所です。大変辛いです。感覚としては、電気が流れるようなしびれる感覚があり、それが強くなって鋭い痛みになったり、あるいは刺されるようなさらに強い痛みがただ突然始まったり、様々ですが、相当痛いです。

睾丸以外にも、例えば手の先や、足の先など、感覚神経の集中している敏感な部位が攻撃されやすく、言い換えれば突然の痛みがおきやすいです。ただ、頻度は比較的低いですけど、その他のからだの殆ど全ての部位も攻撃の対象となることがある、といえます。

それはいつどこで発生しますか？どれくらい頻度で、どのようなタイミングでおきますか

何時攻撃を受けるかという、一日中受けるんです。朝目が覚めたときにはたいてい攻撃されている状態から始まることが多いです。ただ、24時間途切れなくずっと攻撃を感じているわけではないです。つまり、攻撃されるときとされてないときがあります。

例えば攻撃をどういう時にされるのかという、集中の要する作業です。仕事しているとき、勉強、重要な連絡などを行うためのメールを書いているとき、この被害を解決するための活動をしているとか、そういった時に攻撃されることが多く、つまり痛みを感じる。あたかもそれらの行動を妨害するように、というか、実際妨害しているわけです。

一方で、例えばテレビを見ていたり、食事とか、ただインターネットをだらだら見ているときとか、生産性のない活動をしているときにはそれを奨励するかのように殆ど攻撃による妨害されません。それは完全明確にちがって、こちらの行動によって、痛みがおきたり止まったり、きりかわります。

しかも例えば何か重要な書き物をして、その結果攻撃を受けているとして、その作業を止めた瞬間攻撃がやむ、ということが殆どです。つまり、必要な何か書き物をする。すると攻撃される。睾丸がさすように痛む。痛くて我慢して、あせも吹き出てくる。つらいのでやめる、と痛みが消える。で、また書き始める、また攻撃される。やめる、また痛みも止む。その繰り返し。何十回やってもその繰り返し。それによって作業できない。作業していても痛くて集中できないし、また攻撃

されるのがわかっているので段々したくなくなる。それによって心と行動がコントロールされています。

Q 何故、その症状や現象が、病気や偶然ではなく、他人からの攻撃と判断できますか？

一般に突然痛みを感じると言えば医学的な原因を疑われるのが当たり前ですが、完全に自分がやっている動作によって、突如痛みが起きたり消えたりします。何十回ためしても、ぴたりとその通りです。これが、この現象が人為的な現象、犯罪である、といえる点の一つです。当然、電磁波過敏症のようなアレルギーでもないです。こちらしていることにあわせて始まったり止まったりするアレルギー症状なんて誰も聞いた事ないはずです。

つまり行自分に起きている事を客観的に考えると、行動をモニターされているという結論になります。では、どのようにしてどのくらい詳しくこちらの行動をモニターしているのかということは私にはわかりませんが、例えば何かを書くという動き、とかそういう眼に見える外的な動きをとらえて攻撃のきっかけにするのかそれとも、脳内の何らかの活動情報、脳内音声等の思考を捉えて、判断材料にしているのかその辺はわかりません。

Q 攻撃の防御（遮蔽、記録による防御、その他）として何を行いましたか？ 行った結果は？

まずこの痛み攻撃の一部は移動によってよけられます。言い換えると、痛んでいるときに別の場所に移動すると痛みはなくなります。よけられるんです。ただし、わたしが攻撃されるべき行動を続行している場合は痛みはすぐに追ってきます。私の感覚ですが、攻撃を受けるときというのはからだの直径数十センチくらいの大きさの部分がほんとわずかにしびれるような何かの感触があり、それが急に痛みにかかわるといことが多いです。この直径数十センチのわずかな感触は身体の上を移動します。ですから察するに、相手はその照射の位置を移動して追尾することそして照射の属性を変化させることができるそれによって攻撃をしているという風に推測できます。

ですので痛みを軽減させる方法の一つとして回転椅子に座って、右に左にひたすら動き続けるという方法があります。この場合、照射自体は結局身体のどこかに受け続けているはずですが痛みは劇的に減衰します。なので、おそらく、同じ部位に照射し続けることが痛み等の効果を得るのに必要なのではないかとそれがこちらが動くことで、調整されていた痛み等を与える周波数の効果が乱されるのではないかと理解しています。一日中オフィスで座って作業する仕事に以前ついていましたがこのような方法で痛みを軽減させて、何とか仕事を続けていました。

また、この痛み攻撃は物で遮断して緩和もできます。以前バイクに乗っていたので、フェイクレザーのかなり分厚いパンツがありました。しかも今は殆どないと思いますがPVC加工の通気性のない生地です。これを履くと、睾丸を含めて、痛みの50パーセント程度はカットできました。はいても、さらに攻照射を強めるのか、結局貫通してきますが、相当緩和できる。カットすると、今度は

むき出しになっている手や足を狙ってくる事が多いです。ちなみに通気性のあるPUでは駄目です。それからやはり通気性のないPVCコーティングのレインコートを持っていてこちらのほうが薄いんですけどこれでも相当の痛みの軽減があります。フードを取り外しでき、これだけ被るだけで、痛みではなく、くらくらさせるような、あるいは急激な眠気の攻撃の時に、急に覚醒し、攻撃によって症状が起きていることがわかります。他には、分厚いラバーシートとかでも、ある程度防げますがそんなものをいつも支えているわけにも行かないです。とにかく外的な照射によっておきている症状であると遮蔽を試みるとわかります。

また、照射の他に屋内配線を使用した攻撃があります。これは基本的に被害に気付いた初期に中心的にやられていた攻撃ですが、部屋の中って配線が床をいっぱい這ってますよね、それで、こちらが家電のコードとかテーブルタップの配線のそばにいとまるで電気風呂に入っているように全身が痛くすることができる。痛くて、汗が吹き出てきます。もちろんこの攻撃もこちらがやることによってオンオフ瞬時に切り替わります。例えばこの被害者活動のためのブログを書いていると攻撃され、痛くて、書くのをとめると、痛みが全部消える、その繰り返しとか、そんな感じです。

それが屋内配線による攻撃であるかわかった理由は一つには、この犯罪被害に気付いてわりと直ぐ外国のウェブサイトでとにかく情報を探し続けてこのエレクトロニック・ハラスメント対策をサービスとして提供している会社のサイトがあって、説明ではそれは何十年か前にマインドコントロール研究に従事していたという技術者が今やっている会社のようなのですが、電子マインドコントロール関係の書籍も何冊か出しているので購入できますけどそのサイトの色々な説明を読んでいてエレクトロニック・ハラスメントの主な攻撃方法としては、照射による攻撃とそれから配線を使用した攻撃の2種類があると説明されていたのでその配線による攻撃方法があること自体は知っていたとうことがあります。ただ屋内配線をアンテナとして使って、人体に影響を与える電磁波を発生する攻撃といってもよくイメージできてなかったのですがある日、あまりにも痛みのお風呂が激しくて無我夢中で、意図せず色々な機器が繋がっているテーブルタップごと電源から引き抜いたら瞬時に痛みが全部消えたんですね。それでそれが配線を使用した攻撃とその時わかった。

仕組みとしては、例えば屋内配線にトリフィールドメーターみたいな電界を測れる計測器を近づければわかるように、シールドされてない配線からは弱い電界が漏れていますが、例えば電力線に人体神経等に作用するように調整されたシグナルをながすことで配線から漏れる電磁波を使用して身体に痛み等の影響を与える攻撃、ということになるでしょう。

また現在被害に気付いてから8年以上、被害の強い弱いとは別に、毎日途切れない攻撃を受け続けていますが、2013年に2日間ほど、痛みや騒音のような嫌がらせを含めて全ての攻撃が完全に消えた時がありました。被害者活動の一環として、初めて国会議員の公開されている方の全てのメールアドレス宛に、集められる限りの電磁波犯罪に関する情報を載せたメールと、問題の解決を訴えるメールを数百通分、あまりよくないことですがBCCにアドレスを貼り、一斉に送りました。その瞬間から、状況の様子を見るためか、とにかく毎日続いていた熾烈な痛み、騒音も全てやみまし

た。しかしまた数日して戻ってしまいました。しかし人間のやっている犯罪なので、こちらの社会的な訴えに関しては、それを妨害したり宥めたるするような、様々な被害の変化があります。

Q 他にどのような被害でお困りですか？ 2番目に多く受ける被害をお話下さい。

他によく受けていたのが低い耳なりのような音によって思考や、作業を妨害する攻撃です。これは、何かのモーターが廻っているような低音でどこから聞こえてくるのかがよくわからない。何となく聞こえてくる方角はあるような気がするのですがただ、耳栓によって音量はある程度緩和するので、恐らく音波であると思います。

これは痛みの攻撃とあわせての使用が多く、例えば、痛みを遮蔽で緩和させて我慢したりしていると次にあきらめて突然低音がわんわんわり始めるとか、他にも、さらにいろいろな種類の攻撃の組み合わせがあります。

これとは別の音攻撃で印象的なのが、特定のワンスポットだけで聞こえる音というのがあって音自体は、わんわんわん とうい全く同じ音の繰り返しなので録音された音源を使っている。まずどういう時にされる攻撃かという、私が座っている時に、それが椅子であれあるいはクッションチェアがあるのでそれを使っている時もそれで寝かかっている時に、私の頭部の左十数センチとか言う場所にこの音がセッティングされているんです。

どういうことかという、被害者として、寝不足であることが多いですが、すると座って作業しながら寝てしまうことも結構あって、その場合私は左側にずれ落ち込むのが動きなのですがそこに音をセットしてあって、そこに頭が入るとそのサイレンが聞こえてたたき起こされる。これ、直径数十センチくらいの中に浮かんだ空間その中に頭を入れると音がする。出すと何も聞こえない。また入れると音ははっきり聞こえる。結構な音量です。また、そこから頭を出すと何も聞こえない。その空間の周りには椅子以外何もありませんよ。普通の音波であればその聞こえる空間から頭を出しても小さくなった音が聞こえるはずですが、だから、これは指向性、直進性のある音なわけです。面白い経験です。

ただそれだけじゃない、その音の聞こえるところに頭を入れて音を聴いている状態で、今度は耳栓を試してみる。すると、全く音の減衰がないんです。これは、例え指向性音波を使用しているとしても、音波、すなわち空気振動である限り、耳栓をすれば多少の音の減衰はあるはずですが、これは音波ですらない。別の媒体によって、音の信号が結果聞こえるように送られているということになります。この攻撃今までに繰り返し受けていてその都度、頭を出して入れて、何べんも試して何時も同じ結果が得られます。非常に驚くべき現象です。じゃあ、この攻撃に何の意味があるかと言えば恐らくプレッシャーをかけるためでしょう、こういうことが出来るんだよ、と示すことによる。

Q 他にどのような被害でお困りですか？ 3番目に多く受ける被害をお話下さい。

非常にタイミングを合わせた繰り返しの監視や嫌がらせ行為です。よく考えるとタイミングを合わせるためには、生活が監視され、さらには何らかの脳内の情報がリアルタイムモニターされている、と推測せざるを得ないような驚くべき様々な嫌がらせです。

例えば、以前住んでいた場所で一週間程度続いた嫌がらせは、朝目を覚ますと、直ぐに、例えば5秒後とか10秒後くらいですねお隣のお宅が同じ歌謡曲を庭で大音量で流す、というものがありませんでした。当時私は、仕事の関係で不規則な生活をしていて起きる時間が朝7時のときも、8時のときも9時20分のときもあり目覚ましを使っていなかったんですね。

でもどの時間に、自然に起きても、誰の曲か知らないですが、少し古めの女の歌手の同じ曲が目覚まして数秒後に必ずかかるんです。つまり、こちらが起きていることがモニターされているとしか理屈として考えられない。それが一週間続くということが偶然起きる可能性は天文学的な確率です。そのお隣のお宅は、その朝の私が起きたすぐ後以外はその曲も含めて、曲自体一日のうちに流すことはないんです。勘違いしないで欲しいのは、そのやかましい曲によって目が覚めるのではないです。こちらが目を覚まして明らかに数秒以上の時間があり、私は完全に覚醒しており、そして大音量が流れはじめる。お前の起きたのがわかるよ、と告げるように。

どうやってるのか色々考えました。例えば監視カメラで行動をモニターしているとしてもこちらはまだ横たわって、目すらつぶっているわけです。外的に変化はわからないのではないかと。呼吸を何らかの方法でモニターしているのか、でも睡眠から覚醒にかけてそんなに違いがありますかね？わからないです。一つの考えられる仮説が眠っている時と覚醒しているときでは、アルファ波とか、ベータ波とか明確に脳波が切り替わりますので、もしそれを遠隔でモニターできていれば、切り替わったところでシグナルがなって、曲を流させる、そのタイムラグが5秒とか10秒とかというのは丁度理解できるわけです。

ちなみに、1週間連続でそれをされて、私は、わかりやすい嫌がらせなので、是非この犯罪の説明のために、この曲を朝録音しようとして枕元にICレコーダーを準備した翌日から、この曲の嫌がらせはとまりました。

同様に脳波のモニターを疑わせる攻撃として、私がそもそも自分が受けているものが犯罪だと気付いたのが2011年のことなのですが、気付いた瞬間から、向うも隠す必要がないからでしょう攻撃が一気に熾烈になり、痛みを含む激しい睡眠妨害を受けました。

これは、エレクトロニック・ハラスメントと騒音攻撃のコンビネーションで、こちらが眠ると、痛み攻撃や、痛みではなくともその場にとどまるのが厳しいような異様な圧迫感が現れ、睡眠を妨害されます。でも人間睡眠時間ゼロだといずれ眠りに落ちちます。その、こちらがこくり、と睡眠に落ちた瞬間かほぼ直後に、そのマンションの階下の人間が、窓の開閉で思いっきりたたきつけてそ

の音でたたき起こす、というものを受けていました。これは一晩に1回2回とかではなく、ほんとに一晩中何十回でもやってるんです。

こちらが、意識が切れて眠りに落ちそうになる、バンとたたきつける、近所迷惑おかまいなしです私がびっくりしておきる。集合住宅ですので、加害者以外の人間も住んでいるはずで、その攻撃を毎晩続けていたため、階かのおそらく一般の住人が夜な夜な「やめてください！」と叫んでいましたけどそれでもおかまいなしで何十回でも、眠りにおちるのにあわせて窓をたたきつける。夜中の2時でも3時でも続けているのでその人が叫ぶのも当然だと思います。

その眠る瞬間のタイミングが計れるということは、やはり、こちらは姿勢は寝て目を閉じているので、脳波をモニターするのに類似の脳内の情報を取得する以外に方法を思いつかないんです。

わたしは被害に気付いてまずしたのが引越しで、すぐ10分くらいのアパートに移動し、それでこの攻撃から逃れようと思ったのですが、そのアパートに入っても全く同様の攻撃を受けました。今度は、窓でなく、玄関のドアを何べんでも眠るのにあわせてたたきつけていました。それで、ドアとたたきつけている人間に会おうと思って外出すると、とりあえず、玄関のドアを開ける理由が必要なのでしょう、一応、外でタバコをすっているんですね。明確に組織犯罪の一員者ですので言葉をかけなかったですが、何故、ドアをたたきつけてるのかと聴けば恐らく、タバコをすいたくなったので、外に出たと答えるのかもしれませんが。それを夜な夜な何十回でもやる。恐らく近所の人もうるさくて起こされているはずですよ。

寝られないので、次に住居を放棄して、ホテルとか、漫画喫茶とかを転々とする生活に入ったんです。ただ、お金もあまりないので、例えば山谷のドヤとかも使用しました。しかし、山谷のドヤにとまった初日だったと思いますけどやはり同じ攻撃をうけたんですね。一晩集痺れ、痛み攻撃で眠れず、それでも眠った瞬間に全く同じタイミングで、数個向うの部屋に泊まっている人間がドアをたたきつける。当然、夜中の2時、3時とかでもやってるんで部屋の外に出てみると、他の部屋の人も外でてそのドアをたたきつけているひとのことを啞然としてみてるんですよ。でもお構いなしで一晩中続けていました。

翌日、そのドヤの管理をしている人間に聞いてみたら、その住人はいままでそんなことをした事はなくて、聞いたところ、テレビを見て興奮して、そんなことをしたという説明をしていました、と私にはいいました。凄いのは、こちらが泊まると決めて即日、その作業をする人間を確保できるという力ですね。ドヤにとまっている生活保護を恐らく受けているような人でしょうから金をつかまされれば、やってくれる人も見つかると思いますけど。ただ、ドヤや幾つも移動しましたけどどのドヤでも同じことが起きたわけではないのでやはり、人が上手く確保できたところで仕掛けてくるというのが合理的な考え方だと思います。

それでその後、被害が変わらなかったの、また別の場所の、今度は一軒家に引っ越したんです。

そこでも、やはり、はじめは眠り際のドアたたきつけ攻撃をうけました。特に、当時夜勤シフトの多い仕事をしていたので昼眠ることも少なくなく、日中であればだからとてもドアをたたきつける側も偶然を装ってやりやすいわけです。しかし、そこは一軒家が集中している、お互いみな顔見知りという場所なので夜中に叩きつけはやらなかった、やれなかったです。もしやったら、近隣の誰かが、●●さんの家、どうしちゃったの、と訝しがられると思います。従って、日中の眠り際の叩きつけも、何十回もというのではなく、毎回、5回とか6回のレベルでやめましたが、それが引越してから何ヶ月か続きました。

それで、今度は加害協力者話してみようと思ったんです。というのも、その引越したの家が、親戚の持ち家で空き家になっているところでその場所自体は昔から何度も遊びに言ったことがあるところで、そのドアをたたきつけている人も、私のことを知っているわけです。

ですので会話してみようと思ったんですが、会うことが出来ない。つまり私が話そうと外に出ると、その人は家の中に入ってしまう。不思議とどうしてもあえないんです。で、ある日、自転車の音がしてその加害協力者が外に出かけようとしているのがわかったので、私も急いで外に飛び出ると、その人が、家の中に走って飛び込むのがみえたんです。で、路上には自転車が放置してあるので、私も箒を出して、庭の掃除をしながら何十分でも待ってやろうと思っていると、しばらくしてとうとう諦めて出てきたので、「こんにちは」とだけ、引越して何ヵ月後かに始めて声をかけると、むこうももごもご挨拶みたいなものをしたと思いますが、それでそのまま出かけて行ってそれを機会にそのドア叩きつけ攻撃はぴたりとなくなりました。

怖くなったのか、上から命令されたのかその辺はわかりません。これはあくまでも分析と推測ですが、そういった協力者は、お金か、脅されてか、あるいは、偽情報をつかって、私の側が危険人物なので攻撃、監視必要があるとかいい含めているのか、その辺りのやり方は、やられているほうには知りようがないです。

睡眠妨害には痛みなど他にも色々やり方があり、引き続き受けていたために屋外で安く眠る方法として一つには、出身大学の図書館でよくデスクにつぶして寝ていました。普通の図書館だと寝てるとおこされてしまいますので。そこでも痛み攻撃はやはり受けますけれど。図書館だと、中々、大々的な騒音攻撃は仕掛けにくいわけです。

それで、大学図書館を使うようになって暫くすると、何時も私がいくと出てくる人がいて、見た目学生ではなく大人ですね。それは偶然ではないんですね。偶然ではないことが分かるように色々教えてくれるわけです。例えば、私の前に来ると、くるっとステップを踏んで回ってみせるとか、別の監視者は、いつも汚らしい浮浪者みたいなカッコをしているのですが、この人はいつも息を荒くして近づいてきて、下手なダンス見たいのを2秒くらいしてすっと去るとか、いわゆる挑発行為をしてくるわけです。

他には、図書館夜10時に閉まるんですけど、閉館間際の誰も他に誰もいないところで1人ずつとこちらの目の前に近づいてきてシャドーボクシングみたいなことを5秒くらいみせてくるとか。こういう嫌がらせはしょうがないんですね。人前でダンスしてみるの違法じゃないですから。こちらは何もできない。下手にこちらが変なことをされたら騒ぎ立てると、話だけで証拠もないですし、不思議な話なので、逆に精神異常と第三者にはとられかねなく危険で、無視するしかないわけです。

それで、いったんそのように監視者、加害協力者ですということを知らせておけば、毎回踊らなくても、後は顔を、姿を見せるだけで、常に監視をしている、ということを知らせることができるわけです。監視していることをあえて知らせて威圧することを公然監視といって、警察組織が内部告発者に使ったりとか色々な組織が使っている手口と思いますが、これは公然監視の少し工夫したバージョンみたいなものです。

ただ、これも、一度、その監視者の1人がこちらが外のテーブルで食事をしているときに嫌がらせのために、ゴミ箱アサリを目の前で始めたんです。私は、もってた Ipad ですかさず録画して、この男は、何時も図書館のなかでも、はあはあ、荒い息をさせて近づいてくるといふ芸風もっています。でも大学図書館なので、その浮浪者は入館カードをもってるんですね。学生かOBとか、地域住民とか、恐らく、特定の人間にしか発行されないはずですよ。

なので、録画した IPAD の動画を見せて、自分はOBですが、ゴミ箱あさりをしているような人間が図書館の中にはいつてくるのは学生のセキュリティ上問題がある、ということを知り、図書館の職員に伝えて、身元を改めさせようと考えたのですが、録画した後、それを境に、何ヶ月もほぼ必ず現れていたその監視者は二度と図書館内には現れなくなりました。ですので、証拠どりに記録にこの嫌がらせは即座に反応します。

他の手口としては、何度か受けたものとして原付で歩いているこちらすれすれに突っ込んでくるというのがありました。どういう風に仕掛けていたかがよくわかったのが、ある日、家の近くを歩いている、日中ですけど、ゆっくりと自転車にのったスーツ姿の男が後ろから私を追い越していき、先の角を曲がり、そこととまって、何度か見かけたことのある突っ込んでくる原付の人に話しかけて、で二人が私を見て、それから、原付がこちらをめぐらして突っ込んできたんです。つまり、タイミングを教える役がそのスーツ姿の男だったんですね。

何度か攻撃を受けていたので、突っ込んでくるなら、こわがらずにぶつかってやろうとその時は思いました。例えばぶつかったとしても、打撲程度でしょうし、通行人が周りにいますので、原付でつっこんで、歩行者にあたれば向うの罪になりますしそれで身元もわるるので、怪我ぐらいと思って、こちらも避けずにチキンレースのように歩いていたら、ぎりぎりでもこうが何とかよけて、路上でなんとか停止していました。それで、それっきり、その追突攻撃はなくなりました。



そのように、こちらがアクションをとるとまた別の方法を考える、というやり方ですが、1個人対集団ですので対処するこちらの時間や体力はどんどん減るのに対し向こうとしては、幾らでも嫌がらせ要因の控えはあるようで大変分が悪いですね。繰り返しますが、人にそんなことを訴えると精神科に連れて行かれる恐れがあり、むしろそれを狙って挑発して来ているのでしょうから、無視するのが一番という理解に至りました。

話を戻すと、そのようにして、攻撃の様々なきっかけが自分の動きにリンクしているために何らかの方法で思考を読まれていると結論づけています。ただ、どの程度どのような方法でということ、やられている側としてはわからないので、様々に調べた情報も併せて推測するしかありません。

Q 被害が始まった時のこと、その後の経緯を簡略に説明して下さい。

2011年に千葉県に住んでいた時に人為的被害であると気付きました。いつも就寝しようと横たわると、階上から低音の機械音のような低音がし、同時にその場にとどまることが厳しいほど強烈なかつ明確な圧迫感を浴びせられるという現象が毎日起き、部屋から外に出るたびに、しばしば「えへっ」声が聞こえ、嫌がらせをされていると理解に至りました。機械のような音から、低音のスピーカーを大出力にして衝撃を起こしているのではと推測しましたが、当時の職場の人間が、それは電磁波による攻撃の可能性が高いと教えてくれ、インターネットで調べたところ、自分に起きているのに類似の被害報告が無数に見つかり、それを知った日から、痛み攻撃、騒音攻撃など明確に認識できる既に説明した様々な攻撃を集中的に受け、家にいられなくなり引っ越しました。その後は説明した通りです。しかし、その認識の相当以前から、長期に渡り原因不明の症状や様々なことが起きており、攻撃の対象になったのはさらに何年も前であると考えています。

Q 警察その他の機関に状況を訴えましたか。その結果は？

被害を認識した千葉県で所轄の警察へ行きましたが、ただ話を聞くだけで、証拠がないし対応できないということでした。その後、被害者活動をしていく中で、国会議員事務所を始め様々なところに説明に回っています。特に国会議員事務所は、こちらが訴えているのでこの問題について知っているところも結構ありますが、色々な理由を出し、今のところ誰もアクションを起こしません。

Q 証言をお聞きになっている人へのメッセージがありましたらお願いします。

例えば、所轄署でもってこんな眼に見えない遠隔武器の対応ができないというのはわかります。ただ私たち被害者ずっと何年も、人によっては十年以上訴え、これが人為的な犯罪による現象であることを示す様々な情報も可能な限り説明し続けてきましたし、それをサポートする情報も提示してきました。一方で、例えば各都道府県系本部なら科捜研もあるし、大変な予算をもっている自衛隊を含めて政府がこのステルス武器の存在について全く何も知らないということは、ありえないのです。

それにもかかわらず、生活をぼろぼろにされて苦しんでいる被害者に対しいっさいの理解を示さず、たとえば、直ぐに対応は難しいけど、調査しますとか、情報の公開とかいっさいの対応を拒んできました。。これは理性的に考えれば明らかにおかしいですよ。その意図的な政府や警察その他

の当局の不作為というのは、それが何故なのかということの説明も含めて、近い将来、追求、そして糾弾されるべきと考えます。

一般の方は、この問題を明らかにするための声を公にどんどんあげていってください。多くの市民の声なくしては、政府はこの問題無視してすまそうとするだけです。そして、最終的にその不利益をこうむるのはみなさんです。事実上、誰であれ、秘密裏に攻撃して社会生活を破壊できるという状態になっているわけですから、私たちの理解している法治国家が機能していません。

私たちの主張を疑うなら、真偽を明らかにべく政府の持つ情報を公開するようにやはり声を上げてください。政府による公的なエレクトロニックハラスメントに対する調査私たちが要求していることは極めてシンプルで、それ以外何ともありません。ご協力お願いします。